

カドミウムやクロムの含有 薬液垂らし30秒判定

EMS

プリント基板設計のイー・エム・エス(EMS、大阪府高槻市、赤塚正志社長)は電子部品中の有

害物質であるカドミウムやクロムの含有を調べる検出キットを七月一日に発売する。検査サンプル

に薬液を垂らすだけで判定できる。電子製品に対する化学物質規制が強まる中、安価で簡単な検査



売する。商品名は「チェックカースティック」(写真。長さ6cmの筒状の容器に入った二種類の薬液を用前に混合して試薬を作り、電子部品や基板など検体に数滴垂らして使う。カドミウム検出キッ

トでは、検体表面に検出物が一滴(約は百万分の一)以上あると無色の試薬がオレンジ色に変色し、三十秒ほどで検査ができる。

で二十四回の検査ができる、年間四千台の販売を目指す。すでに鉛を検出する同様の商品が販売中で、水銀とニッケルの対応品も順次販売する。

か、蛍光エックス線分析装置で検査している。ただ、検査対象は電子部品中のメッキや樹脂、ネジ、塗料など多岐にわたるため、装置と並行して使用できる安価な検査手法に対するニーズが高いと判断した。

米国の製造会社から輸入販売し、価格は一隻三万円台後半となる。一隻

有害物質が含まれている